



日本災害情報学会

第3回学術研究発表大会プログラム

開	会	11月1日(木)	午前9時30分	
研	究	11月1日(木)	午前9時40分	～ 午後6時
	発	11月2日(金)	分	～ 正午
	表		午前9時30分	
			分	
理	事	11月2日(金)	正午	～ 午後0時50分
緊	急	11月2日(金)	午後1時	～ 午後2時30分
報	告			
総	会	11月2日(金)	午後2時30分	～ 午後3時
			分	
シ	ン	11月2日(金)	午後3時30分	～ 午後5時30分
ン	ポ		分	
ジ	ウ			
ウ	ム			
閉	会	11月2日(金)	午後5時30分	
			分	
懇	親	11月2日(金)	午後6時	～ 午後8時
会				

本会場：関西大学 100 周年記念会館（2階・ホール） 懇親会会場：レストラン紫紺（3階）

11月1日（木）

進行 川端信正事務局長

【開 会】午前9時30分 挨拶 廣井 脩会長

【研究発表】午前の部 午前9時40分～正午（座長 田中 淳）

○印：講演者 講演持ち時間 20分（発表 15分、質疑 5分）

風水害・災害報道

「住民に分りやすい地域防災学習マップの取組みについて」

○湯川典子（アジア航測） 瀬尾克美（砂防・地すべり技術センター）
小野弘道（同） 天野 篤（アジア航測）

「防災活動に効果的な防災気象情報を目指して」

○桜井美菜子（気象庁予報部） 村中 明（気象庁）

「水で水を制する画期的な防水技術の検証」

○伊永 勉（アニメックス災害研究所） 町田 岳（同）

「2000年東海豪雨における住民の対応行動」

○田中 淳（東洋大学） 廣井 脩（東京大学） 中村 功（松山大学）

中森広道（日本大学） 宇田川真之（東京大学）

「報道機関と連携した岩手山火山防災対策の取組み」

○齊藤徳美（岩手大学工学部）

「阪神・淡路大震災における安否放送の分析」

○三上俊治（東洋大学）

「防災CGを活用した台風15号に関するテレビ朝日の放送対応」

○坂野義幸（テレビ朝日報道局ウェザーニュースセンター）

吉武民雄（ウェザーニュース社テレビ朝日ウェザーセンター）

【研究発表】 午後の部① 午後1時20分～午後3時（座長 中村 功）

○印：講演者 講演持ち時間 20分（発表15分、質疑5分）

防災情報システム

「岩手山入山規制緩和にむけた緊急警報システムの構築」

○齊藤徳美（岩手大学工学部）

岩手山登山安全対策協議会（岩手県、滝沢村、西根町、雫石町）

「2001年芸予地震と通信メディアの問題点」

○中村 功（松山大学）

「地域コミュニティ型GISの開発とその防災面の展望」

○植田達郎（京都大学情報学研究科） 河田恵昭（京都大学防災研究所）

宮定 章（大阪大学工学研究科） 宮西悠司（神戸地域問題研究所）

「携帯電話を利用した学生の安否情報確認システムの実用化」

○湯瀬裕昭（静岡県立大学経営情報部）五十川直也（同）

「モバイル式携帯電話による河川情報提供システムの開発」

○鶴田圭一（河川情報センター） 清水敬生（同） 齊藤貴裕（同）

池田 茂（同）

【研究発表】 午後の部② 午後3時30分～午後6時（座長 牛山素行）

○印：講演者 講演持ち時間 20分（発表15分、質疑5分）

火山災害・危機管理・その他

「雲仙火山災害 噴火10年後のイメージ」

○磯 望（西南学院大学） 陶野郁雄（国立環境研究所）

「有珠山 2000 年噴火における火山防災マップの使われ方」

○宇井忠英（北海道大学大学院理学研究科） 岡田 弘（同）

「有珠山2000年噴火における住民の避難行動」

○宇田川真之（東京大学） 廣井 脩（東京大学） 田中 淳（東洋大学）
中森広道（日本大学） 中村 功（松山大学）

「履歴・再現機能を応用した土砂災害対策の危機管理」

○大淵達雄（宮崎情報処理センター） 日野宗門（消防科学総合センター）

「巨大地震に備えるーこれからの広域防災のあり方ー」

○黒澤千穂（京都大学情報学研究科） 河田恵昭（京都大学防災研究所）

「噴火災害後における島原市の自主防災組織の活動と課題」

○松木理一（長崎大学大学院） 高橋和雄（長崎大学工学部） 中村聖三（同）

「鳥取県西部地震における住宅内部被害の一事例」

○中川洋一（静岡総合研究機構災害情報研究所）

1 1 月 2 日 （ 金 ）

進行 川端信正事務局長

【研究発表】

午前 9 時 3 0 分～正午（座長 干川剛史）

○ 印：講演者 講演持ち時間 20分（発表 15分、質疑 5分）

原子力災害・災害情報

「原子力災害の情報伝達に必須の用語」

○中島敬行（防災技術調査研究所）

「航空機搭載合成開口レーダー（Pi-SAR）による豪雨災害情報の避難への活用」

○水谷完治（森林総合研究所） 前野英生（通信総合研究所）

「三宅島噴火災害における情報支援活動の展望と課題」

○干川剛史（大妻女子大学人間関学部）

「豪雨時の情報収集手法の現状について」

○牛山素行（京都大学防災研究所）

「ウェブページによる有珠山 2000 年噴火情報の提供活動」

○小澤 聡（北海道立地質研究所） 檜垣直幸（同） 鈴木隆広（同）
高見雄三（同）

「災害情報の重要性—世界貿易センタービル崩壊映像を見て—」

○伯野元彦(東洋大学工学部環境建設学科)

【理 事 会】 午後0時～午後0時50分 第2会議室(2階)

【緊急報告】 (ロングスピーチ) 午後1時～午後2時30分 研究発表会場
①明石歩道橋圧死事故 時事通信社・神戸総局 中川和之氏
②米国同時多発テロ まちづくり計画研究所所長 渡辺 実氏
(進行) 川端信正氏

【総 会】 午後2時30分～午後3時 研究発表会場

【シンポジウム】 午後3時30分～午後5時30分 研究発表会場

テーマ 「南海地震に備えて」

コーディネーター	京都大学防災研究所長	河田恵昭氏
パネリスト	東京大学地震研究所教授	阿部勝征氏
	防災情報機構専門委員	伊藤和明氏
	高知県消防防災課	酒井浩一氏
	内閣府参事官	布村明彦氏

【閉 会】 午後5時30分 挨拶 河田恵昭副会長

懇 親 会 午後6時～午後8時 レストラン「紫紺」(3階)

(参加費 4500円)

.....

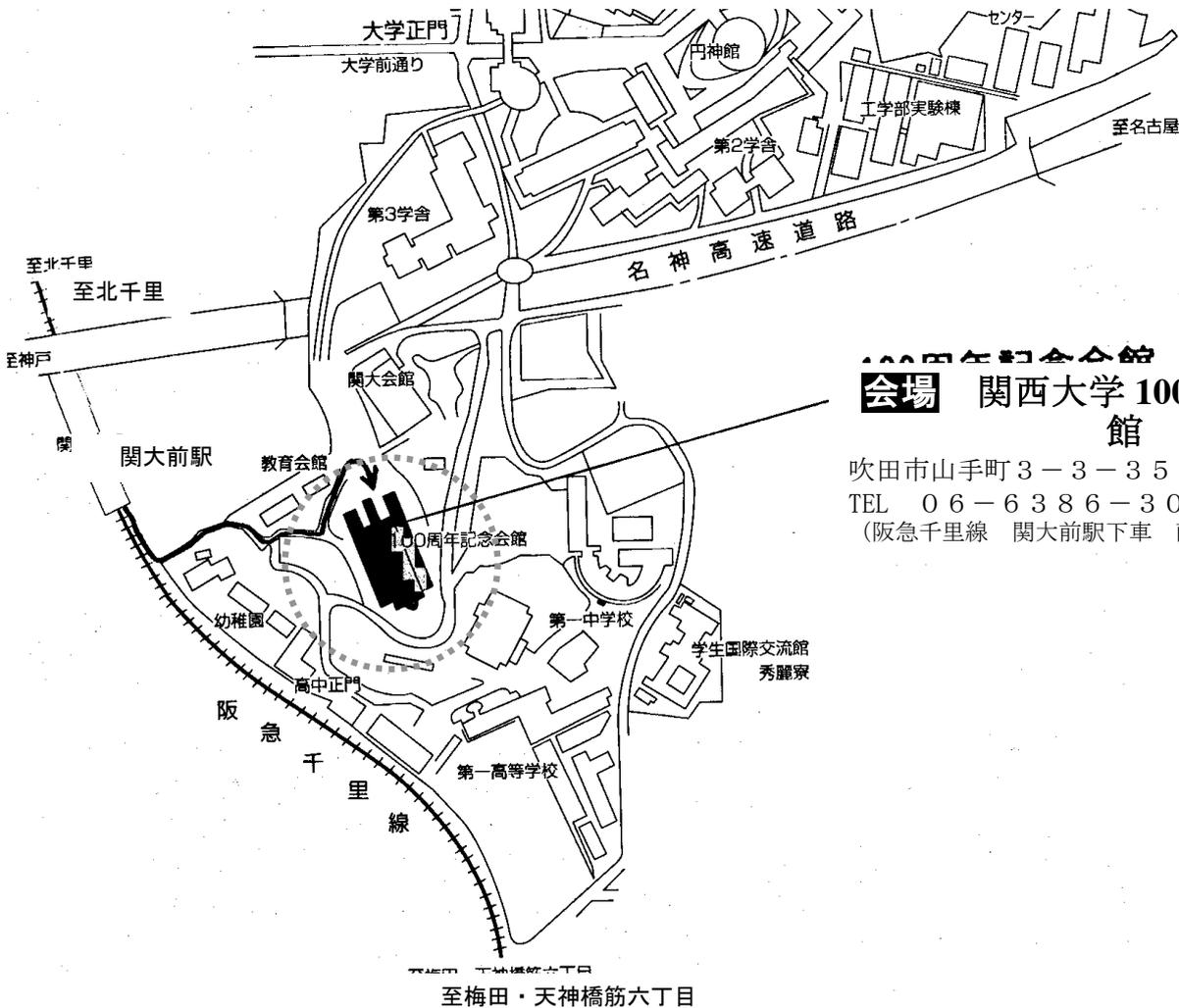
11月3日(土)

日本自然災害学会20周年記念シンポジウム

午前9時30分から午後4時

関西大学100周年記念会館ホール

日本災害情報学会 研究発表大会会場案内



100周年記念会館 会場 関西大学 100周年記念会館

吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6386-3008
(阪急千里線 関大前駅下車 南出口東へ)

《交通案内》

- ① 阪急電車梅田駅から：「北千里ゆき」→関大前駅（約30分）
- ② JR新大阪駅から：地下鉄「天王寺・なかもずゆき」→次駅の西中島南方駅下車、高架下の阪急電車南方駅「北千里ゆき」に乗換え→関大前駅（約30分）
- ③ 大阪空港から：大阪モノレール「門真ゆき」_山田駅、阪急電車山田駅「梅田・天下茶屋ゆき」に乗換え→関大前（約30分）

《宿泊案内》

1.ホテルマール南千里	阪急千里線 南千里駅下車 徒歩1分	関大前駅から阪急千里線で1駅。 ホテルの周辺は主に住宅地で夜間の 飲食ジョッピング等は不可。	電話06-6872-1911	シングル5600～
2.大阪工坂東急イン	地下鉄御堂筋線 江坂下車 徒歩1分	関大まではホテルよりタクシーで 10分程度。大阪駅、新大阪駅からは 地下鉄御堂筋線利用。	電話06-6338-0109	シングル8100～
3.新阪急ホテル	各線大阪駅より 徒歩数分	大阪梅田の中心にある。関大までは 阪急梅田より阪急千里線で約20 分。	電話06-6372-5101	シングル7800～
4.新阪急ホテルアネックス	各線大阪駅より 徒歩数分	大阪梅田の中心にある。関大までは 阪急梅田より阪急千里線で約20 分。	電話06-6372-5101	シングル7800～
5.千里阪急ホテル	地下鉄御堂筋線 千里中央 徒歩5分	大阪駅、新大阪駅からは地下鉄御堂 筋線利用。関大まではタクシー利用 で約15分。	電話06-6872-2211	シングル11500～

(参考) HORNET ホーネット ビジネスホテル検索・予約サイト <http://www.inn-info.co.jp>